

決算報告書 (平成19年度)

(単位: 百万円)

区 分	予算	決算	差額 (決算-予算)
収入			
運営費交付金	60,874	60,874	—
施設整備費補助金	12,134	12,134	—
補助金等収入 ^{※1}	150	3,040	2,890
国立大学財務・経営センター施設費交付金	153	153	—
自己収入	37,384	38,629	1,245
授業料、入学金及び検定料収入	13,242	12,975	△267
附属病院収入 ^{※2}	23,635	24,680	1,045
雑収入 ^{※3}	507	974	467
産学連携等研究収入及び寄附金収入等 ^{※4}	18,834	22,872	4,038
引当金取崩	—	58	58
長期借入金収入	558	558	—
承継剰余金	—	8	8
目的積立金取崩 ^{※5}	5,457	2,362	△3,095
計	135,544	140,688	5,144
支出			
業務費 ^{※6}	91,455	87,855	△3,600
教育研究経費	67,990	63,009	△4,981
診療経費	23,465	24,846	1,381
一般管理費 ^{※7}	7,457	6,470	△987
施設整備費	12,845	12,845	—
補助金等 ^{※8}	150	3,039	2,889
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 ^{※9}	18,834	23,903	5,069
長期借入金償還金	4,803	4,803	—
計	135,544	138,915	3,371
収入-支出	—	1,773	1,773

注)決算報告書とは、国立大学法人等の運営の見込みである年度計画の予算と、決算を対比して表すことにより、その運営状況を報告しようとするものです。国における会計認識基準に準じ、現金主義を基礎としつつ出納整理期の考え方を踏まえて一部発生主義を取り入れたもので、収入・支出ベースで表示しています。

- (※1) 予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比べて約29億円決算額が多くなっています。
- (※2) 附属病院収入については、外来患者数の増や平均在院日数の短縮等による稼働額の増により、予算額に比べて約10億円決算額が多くなっています。
- (※3) 雑収入については、主として施設利用料収入及び有価証券利息等により、予算額に比べて決算額が約5億円増収となっています。
- (※4) 予算段階では予定していなかった国からの受託事業や科学研究費補助金等(間接経費)、民間からの共同研究や寄附の獲得に努めたため、予算額に比べて決算額が約40億円増収となっています。
- (※5) 目的積立金取崩については、宇治おうばくプラザの整備、看護体制の拡充支援事業、職員宿舎の整備等の一部を平成20事業年度以降に実施することとしたため、予算額に比べて約31億円決算額が少なくなっています。
- (※6) (※5)に示した理由や退職予定者が当初見込みを下回ったため等により、予算額に比べて決算額が約36億円少なくなっています。
- (※7) (※5)に示した理由や経費の節減等により、予算額に比べて決算額が約10億円少なくなっています。
- (※8) (※1)に示した理由により、予算額に比べて決算額が約29億円多くなっています。
- (※9) (※4)に示した理由や平成17事業年度に受け入れた寄附金による病棟施設整備事業等により、予算額に比べて決算額が約50億円多くなっています。なお、前年度以前の繰越額による支出額は約54億円です。

財務諸表等の要約

決算報告書

(単位：百万円)

区 分	17年度決算	18年度決算	19年度決算	増△減 (前年比較)
収 入				
運営費交付金	62,583	62,228	60,874	△1,354
施設整備費補助金	2,336	6,241	12,134	5,893
施設整備資金貸付金償還時補助金	18,378	—	—	—
補助金等収入 ^{※1}	399	543	3,040	2,497
国立大学財務・経営センター施設費交付金	672	153	153	—
自己収入	37,538	38,206	38,629	423
授業料、入学料及び検定料収入	12,983	12,963	12,975	12
附属病院収入 ^{※2}	23,886	24,519	24,680	161
雑収入	669	724	974	250
産学連携等研究収入及び寄附金収入等 ^{※3}	21,333	21,173	22,872	1,699
引当金取崩	—	—	58	58
長期借入金収入	362	—	558	558
承継剰余金	3	92	8	△84
目的積立金取崩 ^{※4}	—	—	2,362	2,362
計	143,604	128,636	140,688	12,052
支 出				
業務費	83,579	85,225	87,855	2,630
教育研究経費 ^{※5}	61,164	61,721	63,009	1,288
診療経費 ^{※6}	22,415	23,504	24,846	1,342
一般管理費	7,422	6,366	6,470	104
施設整備費	3,370	6,394	12,845	6,451
補助金等 ^{※7}	398	542	3,039	2,497
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	17,108	20,871	23,903	3,032
長期借入金償還金	23,392	4,933	4,803	△130
計	135,269	124,331	138,915	14,584
収入－支出	8,335	4,305	1,773	△2,532

(※1) グローバルCOEプログラムや、世界トップレベル拠点等の受入により約25億円増加しています。

(※2) 外来患者数の増や平均在院日数の短縮等による稼働額の増により増加しています。

(※3) おもに、寄附金収入の増(約14億円)や、受託事業の増(約3億円)により、増加しています。

(※4) 平成19事業年度より、大学の定めた剰余金の使途に用いるために、目的積立金を取崩しております。

(※5) (※4)に示した理由などにより、約13億円増加しています。

(※6) (※2)や(※4)に示した理由などにより、約13億円増加しています。

(※7) (※1)に示した理由により、約25億円増加しています。